



春



病院理念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場に立ち、安心して満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

こばたけ



医療法人
(社)玄同会

小島病院



新任医師のご紹介

2019年4月より診療を担当させていただく
新任の医師を紹介します。

外来診療の担当日については、最終頁の「外来診療担当表」をご覧ください。



泌尿器科

みやもと かつとし
宮本 克利 医師

趣味:なし
好きな食物:魚
苦手なもの:虫
好きな言葉:継続は力なり

ひと言:泌尿器科の宮本と申します。地域の皆様に貢献できるように頑張りたいと思います。泌尿器疾患でお困りのことや疑問なことはお気軽にお尋ね下さい。よろしくお願いたします。



糖尿病内科

いそべ はやと
磯辺 隼人 医師

趣味:ゲーム・釣り
好きな食物:ラーメン
苦手なもの:虫全般
好きな言葉:一期一会

ひと言:2019年4月から赴任させて頂きました磯辺と申します。患者さんに寄りそった医療を心がけていきたいと思っております。疑問や不安などがありましたらお気軽にご相談下さい。



糖尿病内科

いわもと ひでゆき
岩本 秀幸 医師

趣味:ファッション、ドライブ
好きな食物:寿司
苦手なもの:睡眠不足
好きな言葉:初志貫徹

ひと言:今年から糖尿病外来を担当させていただく、岩本と申します。患者さん一人一人と丁寧に向き合っていきたいと思っております。まだまだ至らないところがあるとは思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願致します。



消化器内科

はた こうさく
畑 幸作 医師

趣味:野球観戦
好きな食物:カレー
苦手なもの:おくら
好きな言葉:臥薪嘗胆

ひと言:2019年より勤務させていただくこととなりました畑幸作と申します。消化器内科医として主に内視鏡検査・腹部エコー検査・外来を担当します。広島出身ですが、福山で働くのは初めてです。地域の皆様に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。



消化器内科

つしま けん
津島 健 医師

趣味:飲酒・マンガ
好きな食物:カレー・ラーメン
苦手なもの:カメムシ・パクチー
好きな言葉:替え玉お願いします。

ひと言:広島大学消化器代謝内科の津島と申します。こちらでは内視鏡検査中心に勤務させていただきます。お気軽に検査オーダーして下さい。よろしくお願いいたします。



消化器内科

ふじた みのる
藤田 穰 医師

趣味:空手
好きな食物:メロンパン
苦手なもの:早起き
好きな言葉:千日をもって初心とし、
万日をもって極みとす

ひと言:月に1回の消化器内視鏡腹部超音波検査を担当させていただきます。福山は地元でもあります。今後ともよろしくお願いいたします。



泌尿器科

やまなか りょうけん
山中 亮憲 医師

趣味:野球観戦
好きな食物:ハンバーグ
苦手なもの:徹夜
好きな言葉:仁術

ひと言:泌尿器科の山中と申します。私は広島県の出身ですが、妻が福山の出身であり、当院に赴任したのも何かの縁かなと思います。相談し易い雰囲気をご心掛けて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第3回 | 医療法人社団玄同会研究発表会

2月3日(日)北館講堂において第3回医療法人社団玄同会研究発表会を行いました。病院をはじめ、法人各事業所の職員が大勢参加し、日頃の業務で見出された課題や考察をまとめた12演題の発表がありました。最優秀賞や優秀賞などが選ばれ、表彰を行いました。



演題

1	当法人職員の頭痛実態調査	(外来)
2	テープ式おむつや尿とりパットの選択とあて方について ～外漏れを予防することで患者の不快感や介助者の負担を減らす～	(第一病棟)
3	訪問診療における医師事務作業補助者の役割	(地域連携室)
4	サービス付き高齢者向け住宅芦花における 業務改善について	(ケアモール芦花)
5	日本紅斑熱の事例を振り返って	(チーム活動)
6	パーキンソン病患者がレスパイト入院を繰り返す中での多職種の役割について ～安心して継続した在宅生活を続けられるために～	(地域連携室)



7	災害発生時事務職員に求められることとは ～豪雨災害を体験して感じたこと～	(医療企画課)
8	生化学検査における溶血検体の血清カリウム値について ～偽高値の補正～	(検査科)
9	f-TULによる腎被膜下血腫の1例	(診療部)
10	グァーガム加水分解物を用いた 神経難病患者の排便コントロール	(第二病棟)
11	当院の入院患者処方薬の調査 ～ポリファーマシー解消に向けて～	(薬剤科)
12	パーキンソン病患者の気分障害と自己評価に関する 調査について	(リハビリテーション科)

3/24

広域災害訓練を実施

小島病院、デイサービスむべやま、
ケアモール芦花合同で3月24日(日)、
水害を想定した広域災害訓練を実施しました。



この訓練は昨年7月、広島県や岡山県を初め全国各所に甚大な被害をもたらした豪雨災害を受けて実施したものです。訓練の想定は、福山市全域で大雨特別警報が出されるなか、駅家町上山守地区へ避難準備に続いて避難指示が発令され、最終的には増水により芦田川が決壊し、病院建物の1階部分が完全に冠水してしまうというシナリオです。訓練には職員等106名が参加。それぞれの持ち場や役割を決め訓練に臨みました。

訓練は9時20分、この地域へ避難準備が発令されるところからスタートしました。直ちに災害対策本部を立ち上げ、各現場のリーダーを招集し、外来診療、デイサービスの休止等を決定するとともに、最悪の事態に備えるよう指示しました。リーダーらが各現場に戻り、指示を伝えると、一斉に訓練は始動しました。

診療休止が伝えられた外来では、患者への避難誘導や避難困難者のトリアージ(手当の緊急度に従って優先順位をつけること)などを実施しました。また、病棟では、患者の受入れや転院の態勢を整えるとともに、断水や停電に備えた対応などを訓練しました。屋外では、男性職員が止水板の設置や土嚢の積み上げで万一の浸水に備え、同時に1階の物品を上階へ移動させることに汗を流しました。一方、デイサービスむべやまとケアモール芦花では、重度利用者等を病院へ搬送するなど施設間の連携を確認しました。その頃、対策本部では、用意した4台の電話が途切れることなく、情報の収集と記録、そして的確な指示を出すのに息つく間もない状態となりました。

今回の訓練で司令役を務めた矢吹事務局長は「2時間強の訓練に全員が真剣に取り組んだ結果、見つかった課題も多くありました。昨年の豪雨災害では、近隣でも大きな被害を受けられた病院があります。あってはならないことですが、日頃から訓練等を通じて被害を最小限に止める対策を講じておくことが大切だと思います」と話しています。

訓練開始前に全員集合



対策本部も大忙し



土嚢積み



簡易トイレも用意



非常食の炊き出し